



We Believe the Possibilities

ひとりのかけがえのないいのちのために

2025年3月期 決算補足資料

2025年5月
ステラファーマ株式会社(証券コード:4888)

目次

1. 2025年3月期 業績

2. 2026年3月期 業績予測



目次

1. 2025年3月期 業績

2. 2026年3月期 業績予測



2025年3月期業績 概要

1	経営成績	中国海南島への売上は計画どおり 売上高、利益とも計画を達成	
2	財務体質強化	第4回新株予約権行使完了により資本増強 翌年度以降の開発資金の確保のためシンジケートローンを締結	
3	パイプライン	血管肉腫	全例観察期間終了
		再発悪性神経膠腫 再発髄膜腫	希少疾病用医薬品の指定
		胸部悪性腫瘍	国立がん研究センター等と治験の契約締結
4	新規開発拠点	藤田学園、住友重機械工業等と深部腫瘍治療の研究開発を推進する覚書を締結	
5	海外展開	TAE LIFE SCIENCE社と欧米向け開発販売提携で合意	

2025年3月期業績 開発パイプラインの進捗

事業分野	対象疾患の詳細	基礎／ 探索研究	前臨床 試験	第Ⅰ相 試験	第Ⅱ相 試験	第Ⅲ相 試験	承認申請	販売承認
【BNCT】 ステボロニン® SPM-011	切除不能な再発頭頸部癌及び 局所進行頭頸部癌	製造販売承認取得・上市(2020年5月)						
	再発悪性神経膠腫						計画されている医師主導第Ⅲ相試験に協力	
	再発高悪性度髄膜種						全例観察期間終了	
	血管肉腫						全例観察期間終了	
	悪性黒色腫						局所に限局したメラノーマから適応を広げることも含めて、開発展開を検討	
	初発膠芽腫						第Ⅰ相医師主導治験実施中	
	胸部悪性腫瘍胸部悪性腫瘍						第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験実施中	

2025年通期 業績ハイライト

売上高

961百万円 +691百万円
(256.6%)

中国海南島への売上が計画通りに計上したことで
前年差では増収

営業利益

△90百万円 +670百万円

増販益のほか、人員減および研究費の翌期持ち越しによる費用減少により増益

経常利益

△137百万円 +622百万円

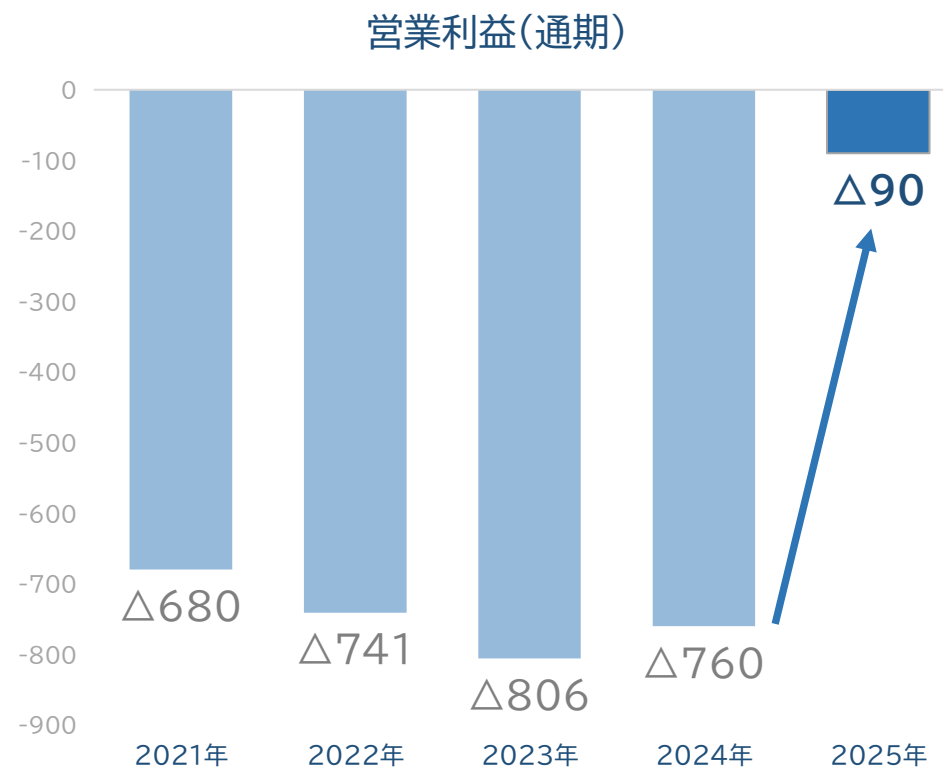
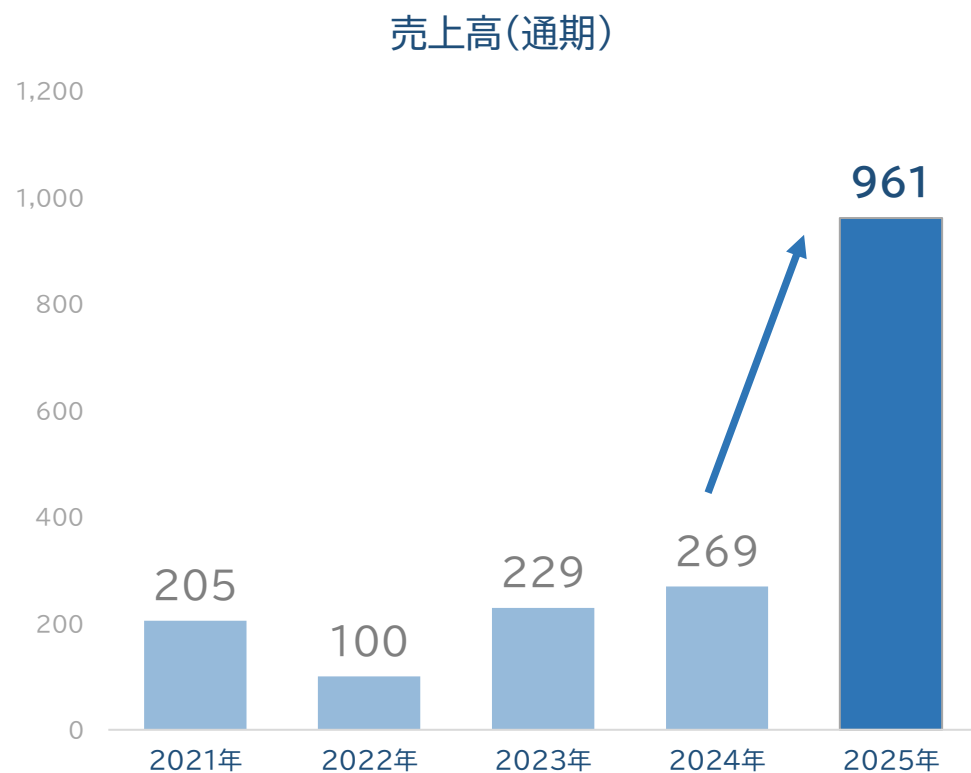
シンジケートローン契約の締結によるアレンジメントフィーの発生により営業利益からは利益減少

当期純利益

△140百万円 +622百万円

25年3月期業績 売上高と営業利益の推移(通期)

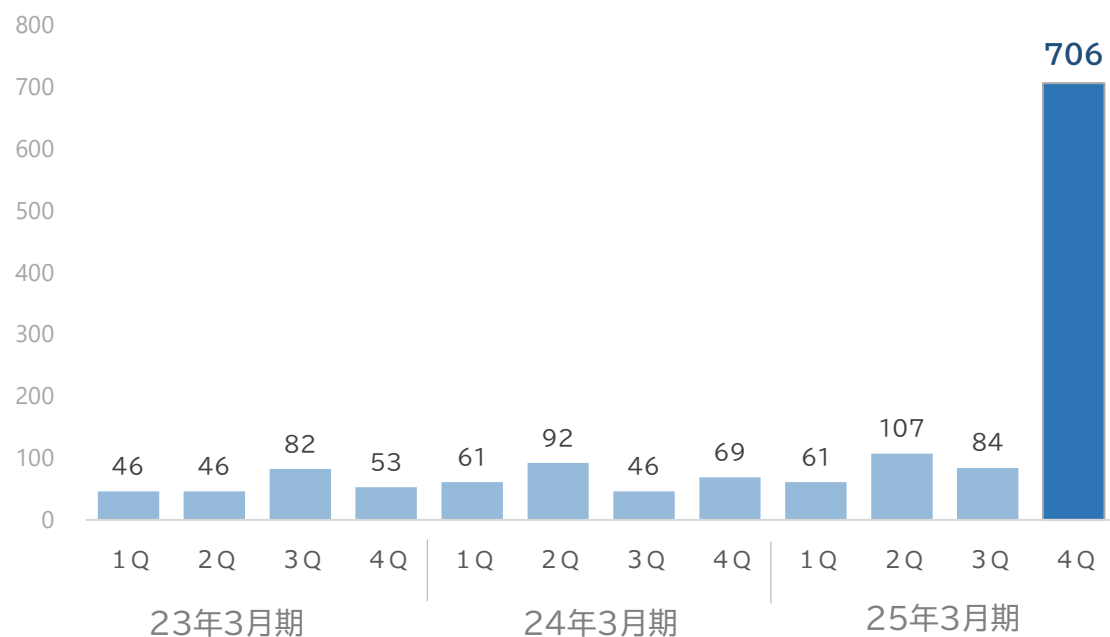
海南島の売上による大幅な増収、利益は増販益により赤字縮小



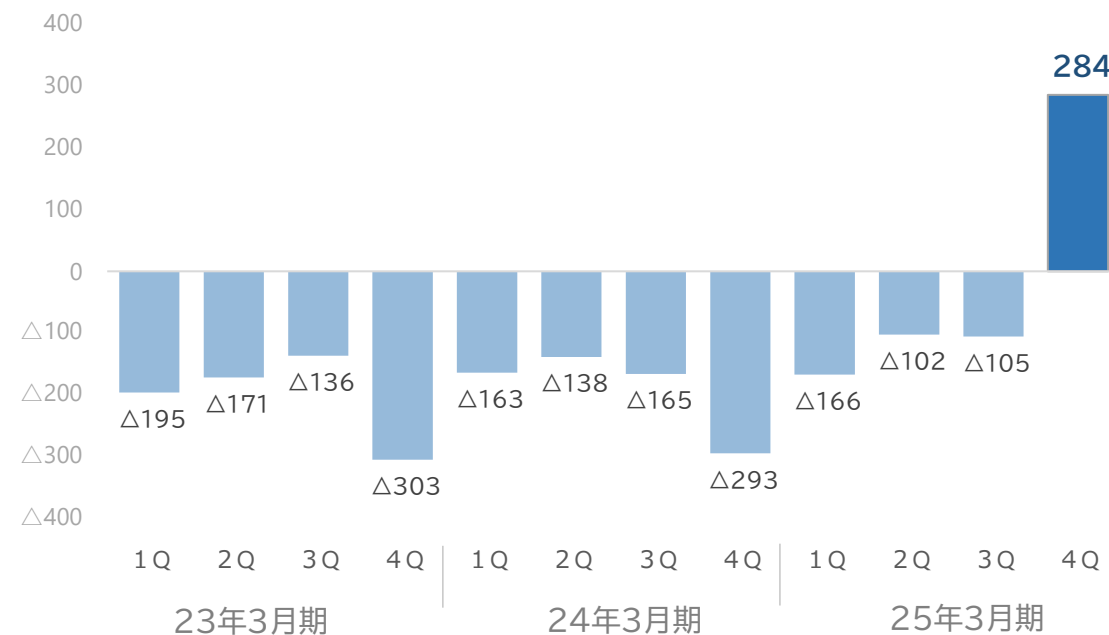
25年3月期業績 売上高と営業利益の推移(四半期)

25年3月期4Qは初の単月黒字を達成

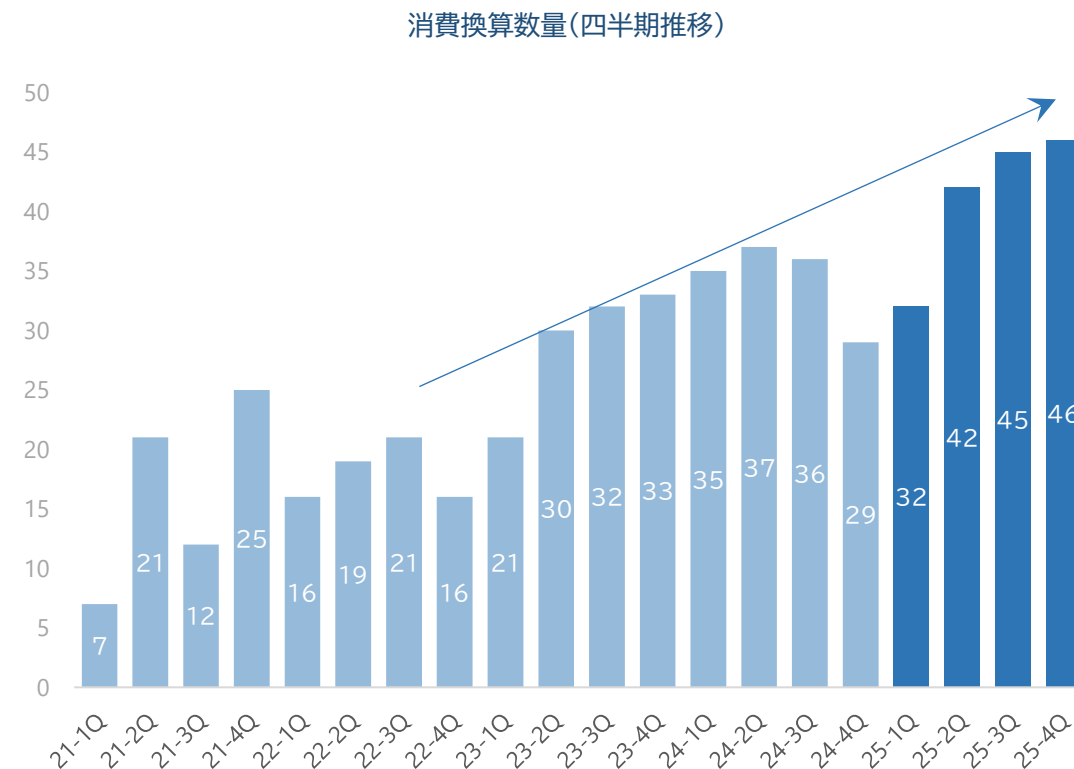
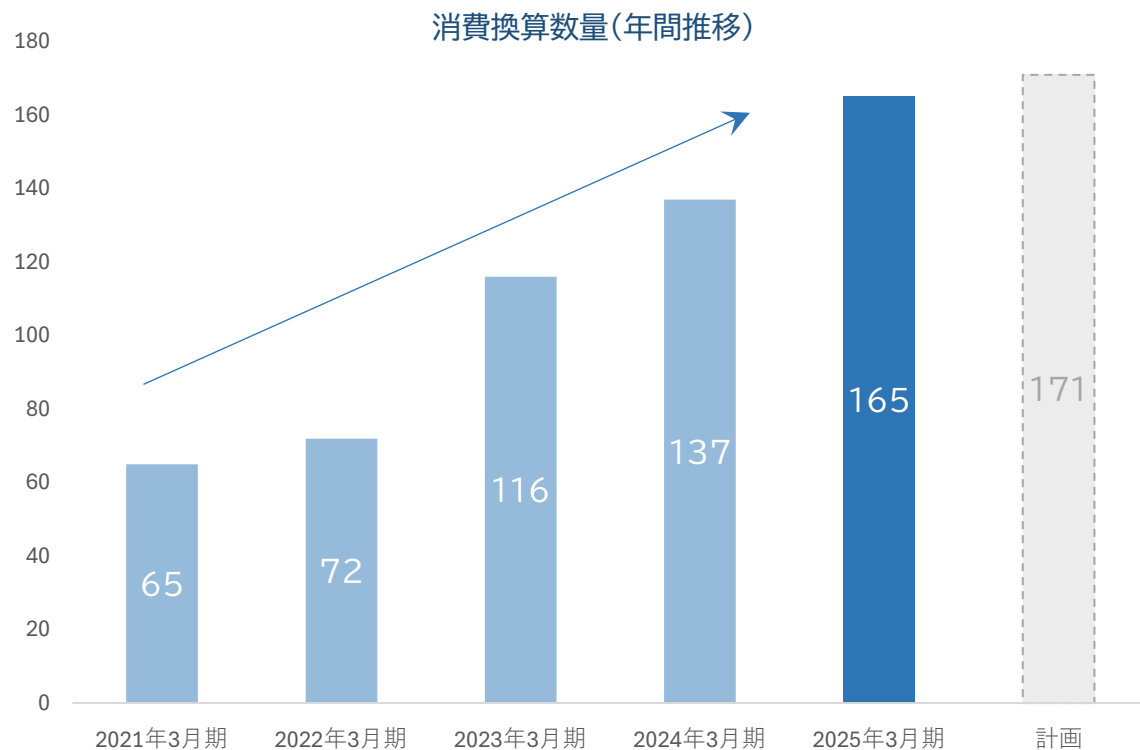
売上高(四半期)



営業利益(四半期)



各種関連学会での情報提供活動が奏功、紹介件数が増加したことにより着実に伸長



※消費換算数量は、医療施設で実施された症例数に、当社が独自に算定しております平均消費袋数を乗じて得た値を箱数に換算したものであります。

第4Qの海南島への売上・増販益により大幅に増収増益

損益計算書(4-3月)

単位:百万円

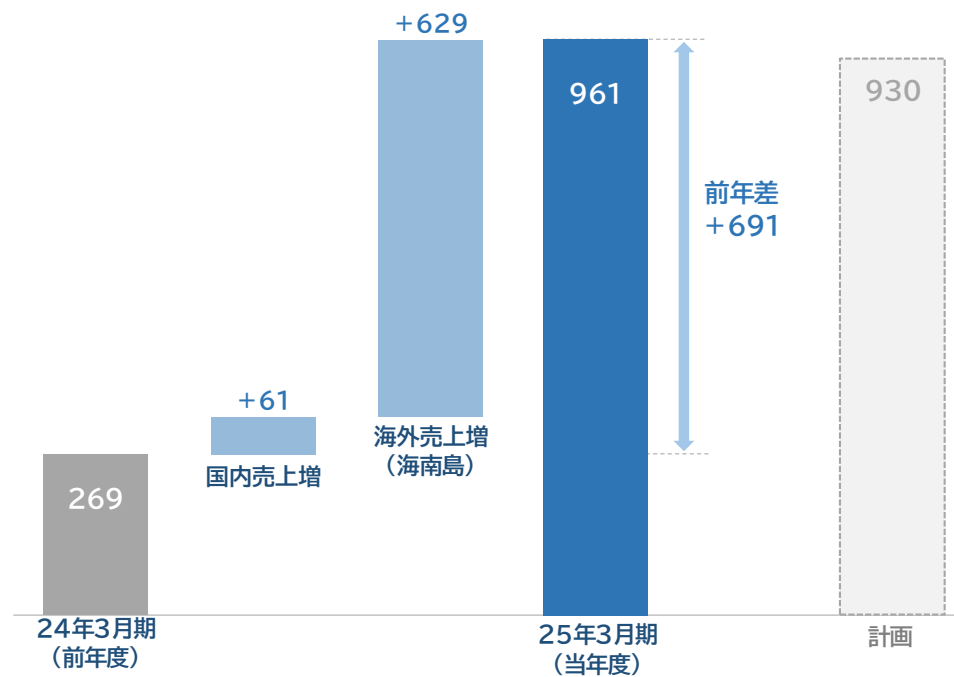
	24年3月期 4Q	25年3月期 4Q	増減	24年3月期 通期	25年3月期 通期	増減
売上高	69	706	920.2%	269	961	256.6%
売上総利益	54	625	1045.0%	217	845	289.2%
売上総利益率	78.8%	88.5%	+9.6pt	80.6%	88.0%	+7.4pt
販売費及び一般管理費	347	340	-2.1%	977	935	-4.3%
営業利益	△293	284	-	△760	△90	-88.1%
営業利益率	-423.3%	40.3%	+463.6pt	-282.1%	-9.4%	+272.7pt
経常利益	△293	233	-	△760	△137	-81.9%
当期純利益	△294	232	-	△763	△140	-81.6%

25年3月期業績 売上・利益分析(通期)

売上・利益とも計画を達成し、前年増収増益

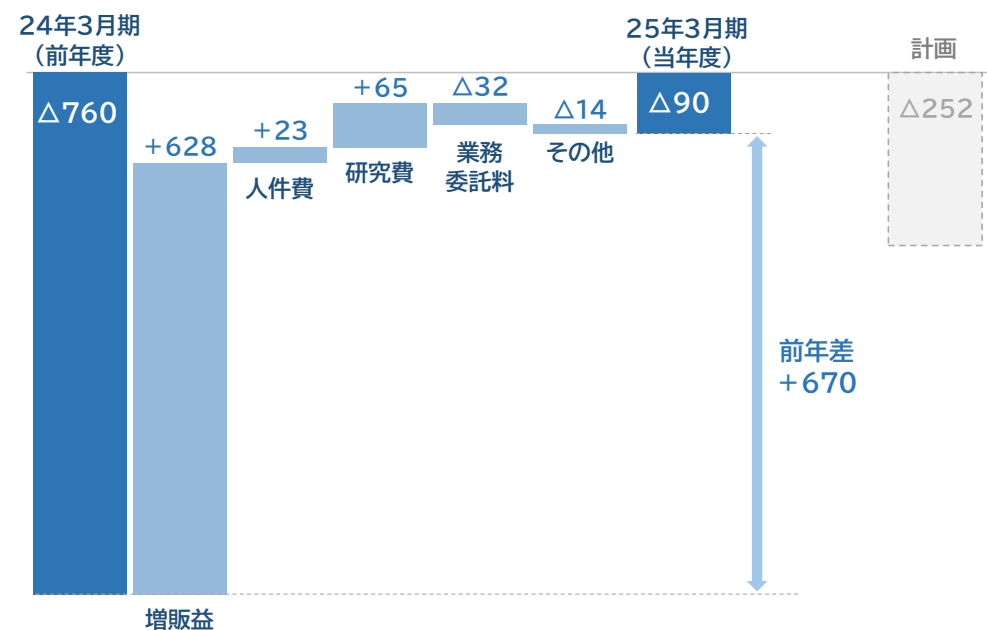
売上高

単位:百万円



営業利益

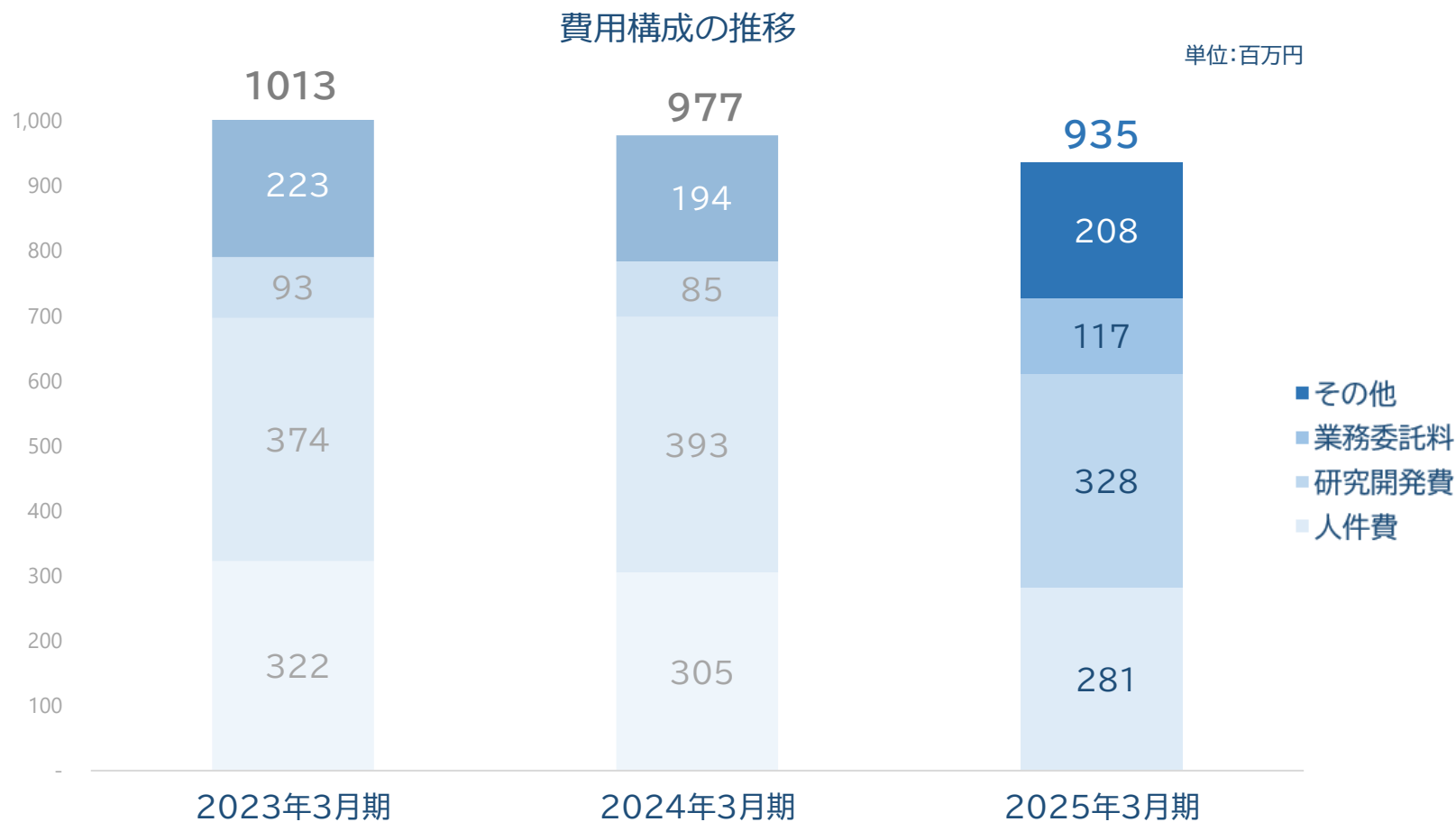
単位:百万円



25年3月期業績 費用構成(通期)

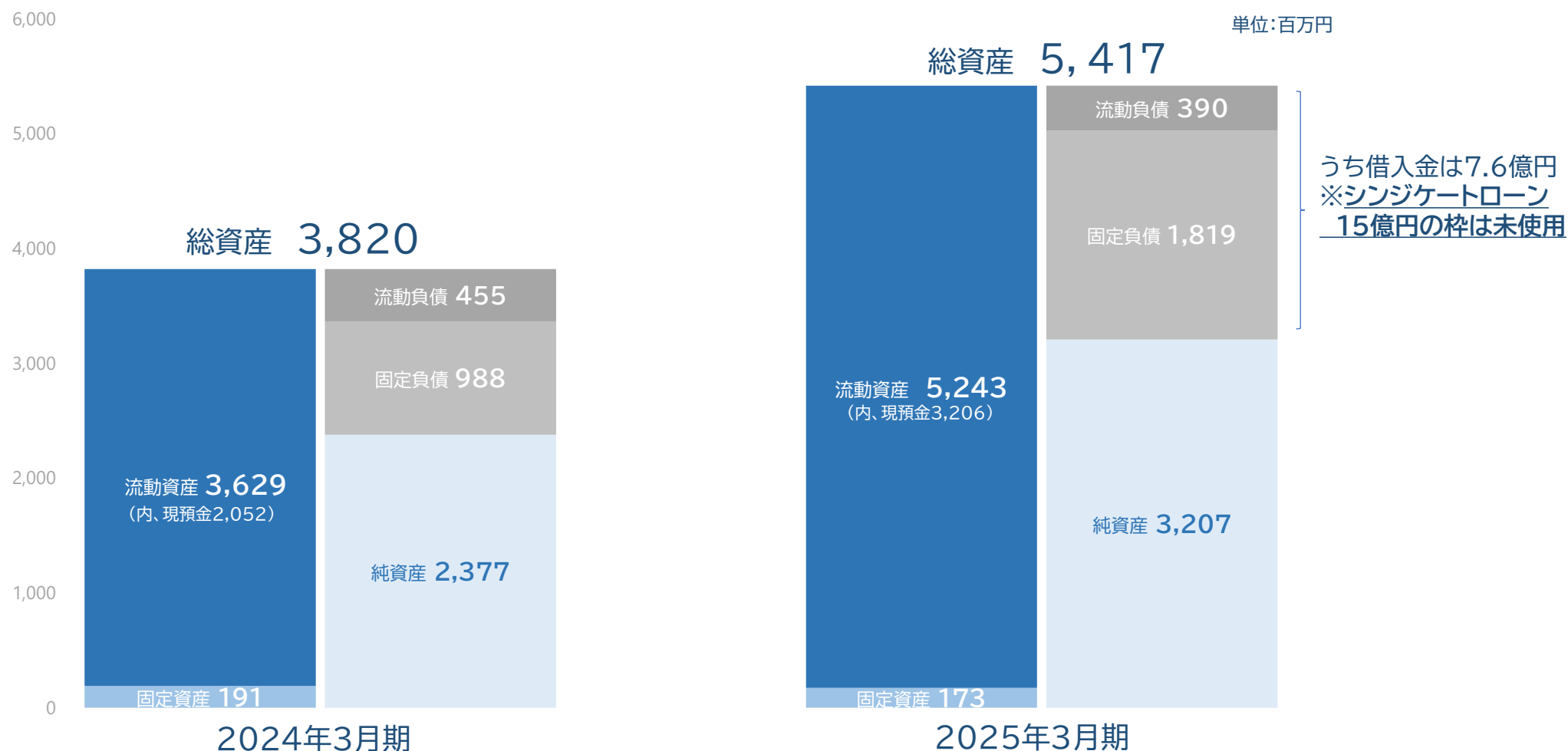
総費用は前年差41百万円減少

海外出荷に伴う増加はあるも、人員減および研究費の翌期持ち越しによる減少が要因

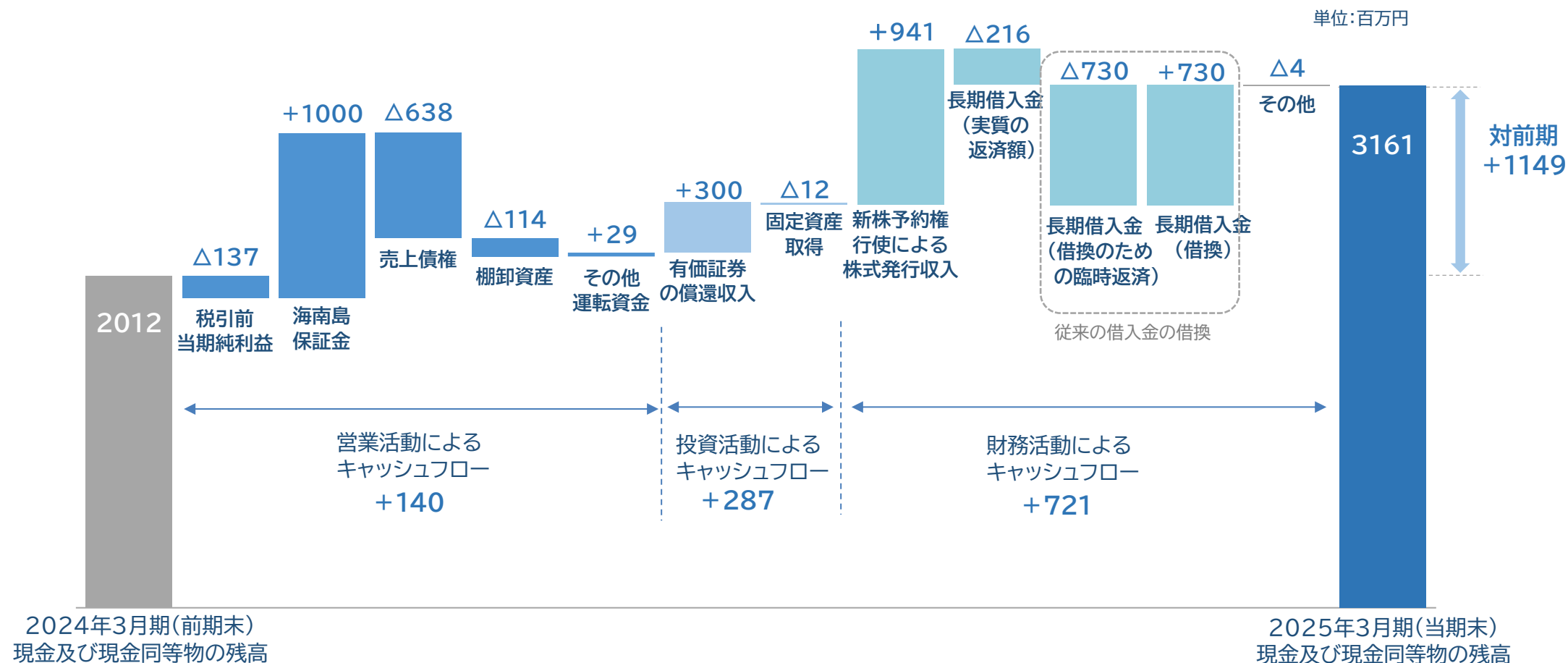


25年3月期業績 貸借対照表

研究費および海外展開費用などの支出に備え、約30億円の現預金を確保
自己資本比率59.2%と健全な財政状態を維持



新株予約権の行使による株式発行収入などにより11.4億円資金増



目次

1. 2025年3月期 業績

2. 2026年3月期 業績予測



業績予測 2026年3月期予測

売上高は国内の症例数の増加により前年比104.8%の増収
 営業利益は海外展開の研究費・人員増などの先行投資により2.6億円減益

売上高

1,007百万円 +46百万円
 (104.8%)

営業利益

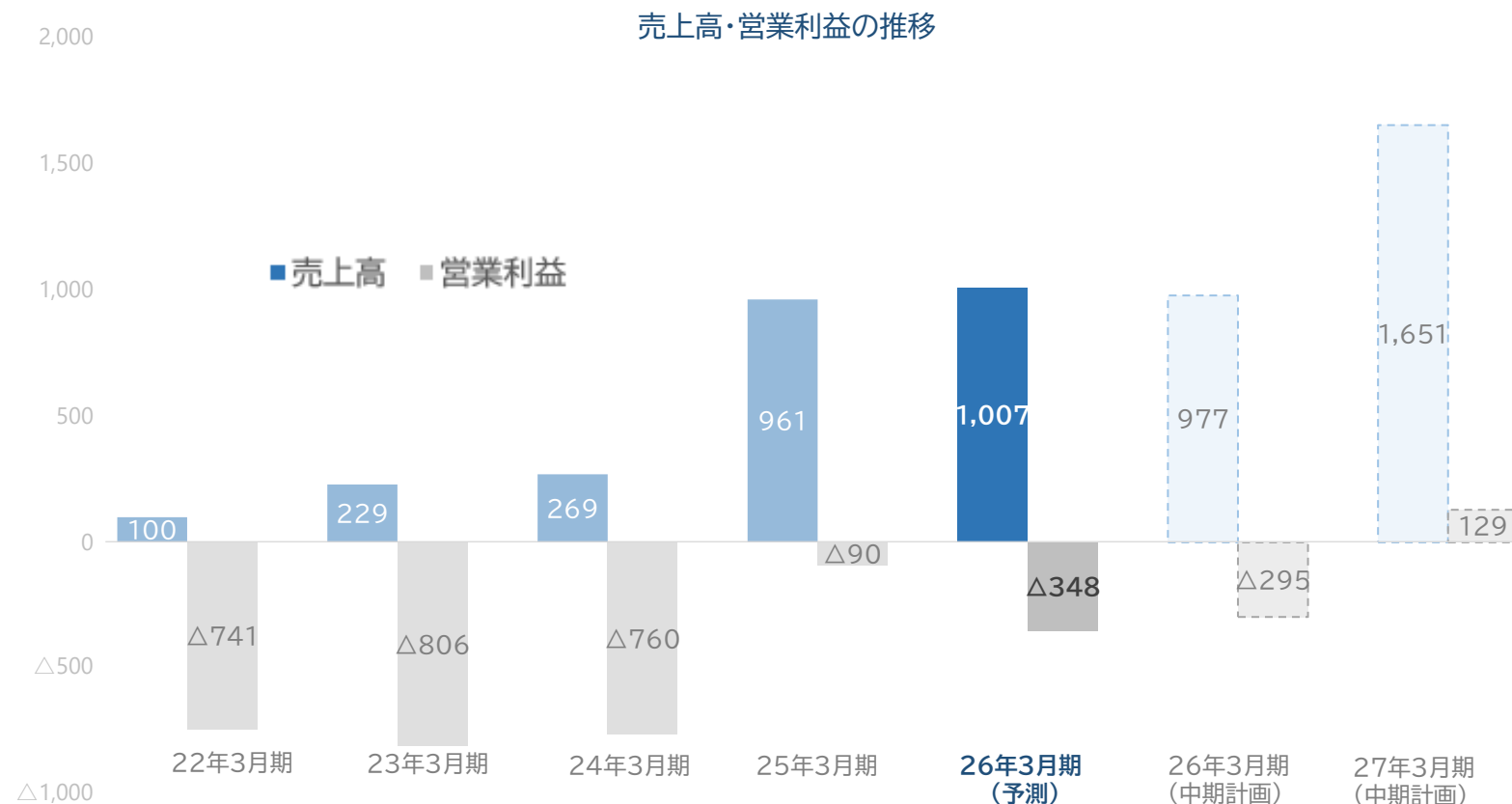
△348百万円 △258百万円

経常利益

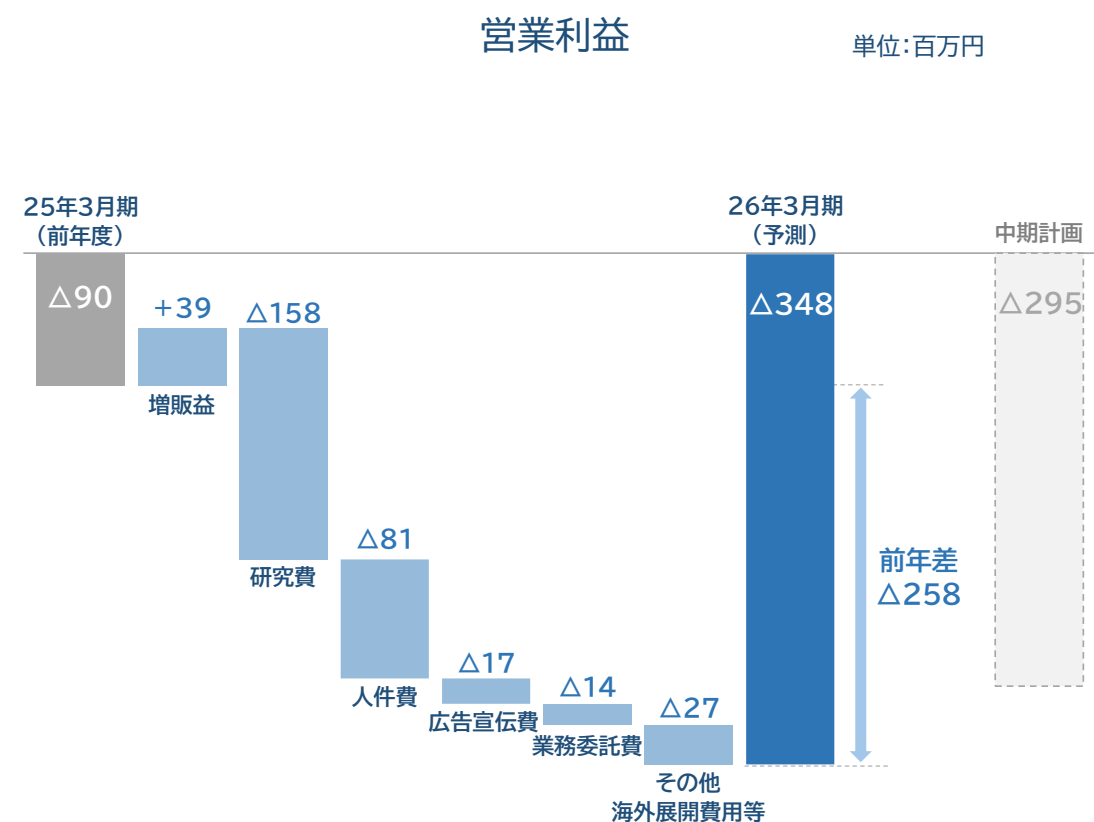
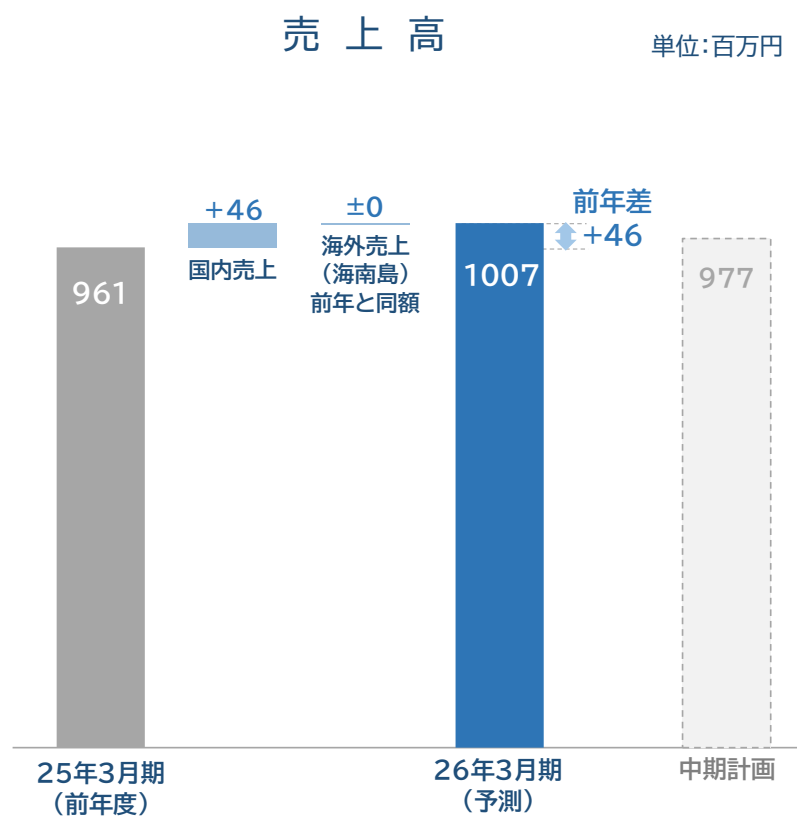
△345百万円 △207百万円

当期純利益

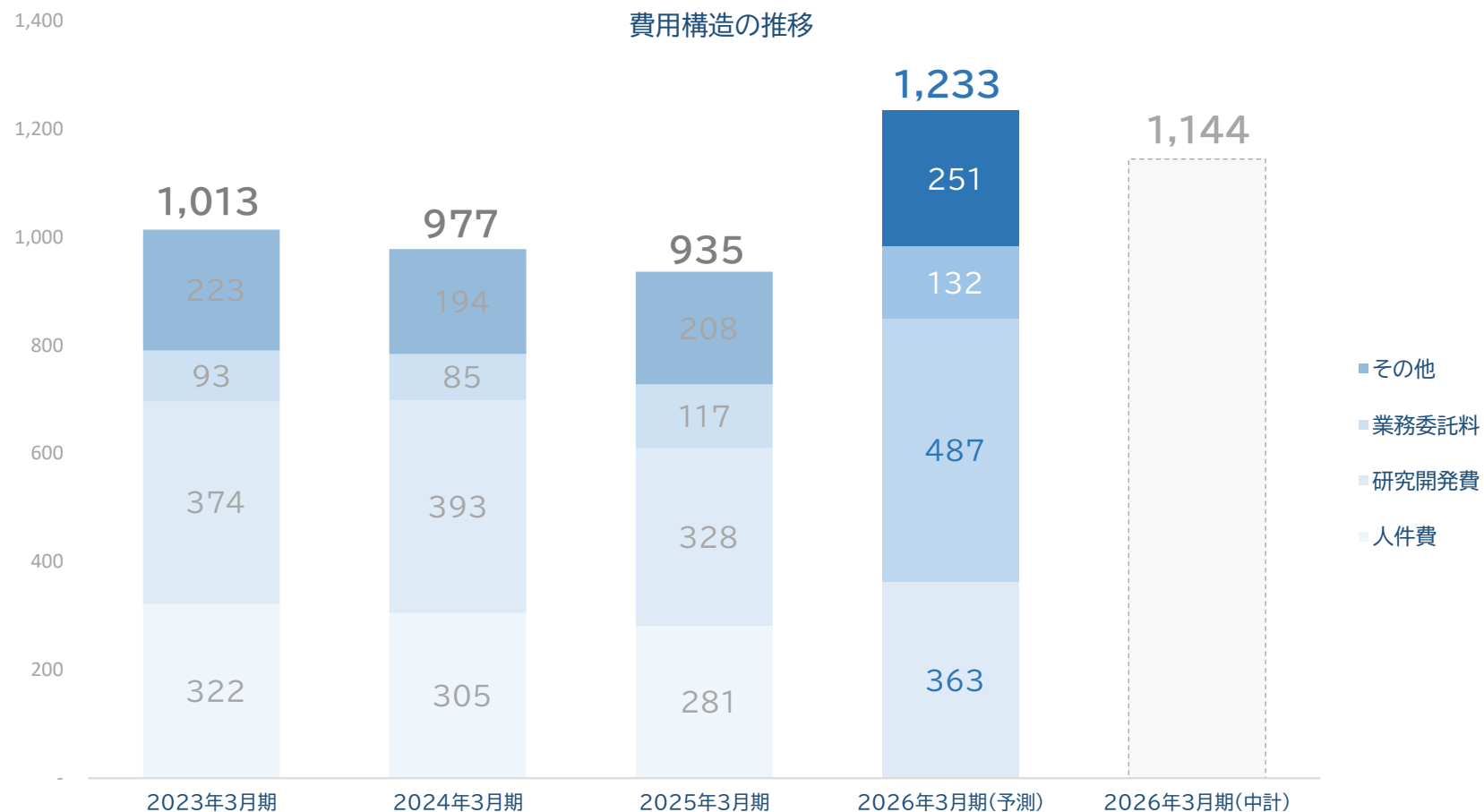
△348百万円 △207百万円



海外展開に係る費用増加により減益の見通し



販管費は前年差297百万円増加 国内の適用疾患の増加、ならびに海外展開の加速化に係る研究費・人員増を見込む



- 本資料における計画や予想、戦略に関する記載については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づく仮定によるものであり、当該仮定は将来の業績を保証するものではなく、実際の業績は今後様々な要因によって本資料の記載と著しく異なる場合があります。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知とされる情報に拠っており、それら情報の正確性や適切性等について当社は保証するものではありません。
- 本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。また掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切の責任を負うものではありません。
- 本資料は、当社事業へのご理解をいただくために作成したものであり、医薬品及び医療機器に関する宣伝広告、医学的アドバイスを目的とはしておりません。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込又は買付けの申込みの勧誘を構成するものではなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。